

「新たな歴史の1ページ」

校長 松尾詩朗

春休みに入るとともに、引っ越し作業、職員の転出入、そして荷物の整理や教室等の環境整備、職員会議等々、あっという間に新学期のスタートを迎えることとなりました。先ず嬉しいニュースは、小学校では今年の新入児が3名（内1名は他所からの転入）、転入児が2年生に1名、3年生に1名、5年生に1名、新たに6名もの子どもたちを迎えることができたことです。3月に4名が巣立っていきましたが、24年度は23年度より2名増え18名でのスタートとなりました。そして中学校は2名の入学生を迎え3名となりました。小学校が中学校内に移転し、小学生と中学生が同じ校舎内で生活をともにするという形態の学校は海南海草地方では初めてのケースとなります。昨年度から、小中学校の職員で奈良県や県内で同じような形態をとっている学校を視察したり、小中合同の会議を実施したりしながら、子どもたちにとって魅力ある学校にするための研究を重ねてきました。小学校の先生が中学生の授業を、逆に中学校の先生が小学生の授業を受け持つことにより、互いの持ち味や専門性を生かすことができます。また協力して授業をしたり、行事をしたりすることにより、よりダイナミックな取り組みが可能となります。新たな授業や行事のスタイルを前向きに創造していくことは、子どもにとっても教員にとってもきっとモチベーションが高まり、結果としてプラスになるはずです。更に新たな転入生を迎えることにもつながるはずです。全職員が一丸となり、魅力ある学校づくりに取り組んでいきますので、地域のみなさんや保護者のみなさんにも今まで以上のご支援ご協力をお願いいたします。